

石積技術

時々、足場の悪い山腹斜面等で石積みを見るにつけ、自分にはとてもできないと感ずると共に、昔の人がそこまでしなければならなかった背景など、多くの苦勞が忍ばれる。

コンクリートブロック積や蛇籠壁を設計し、自ら施工する機会があったが、共に、二度と設計するものではないと感じた。“棚田はすばらしい文化的景観だから、今後も維持して欲しい”というわがままとも思える主張は、自らが実践した上ですべきであろう。さもなくば、相応の対価を支払うべきである。

これからの設計は担い手の高齢化を最大限に考慮すべきであり、特に、“転石小割除去工”といった非人道的と思える工法は、強く再考を願うものである。



○対馬・・・海岸に近い家屋の防護壁として



○小田原市一夜城（粘性土からなる提法面の石積）・・・400 年経過



○金沢城公園・・・石垣の高さ日本一は伊賀上野城





○積み方



○津城



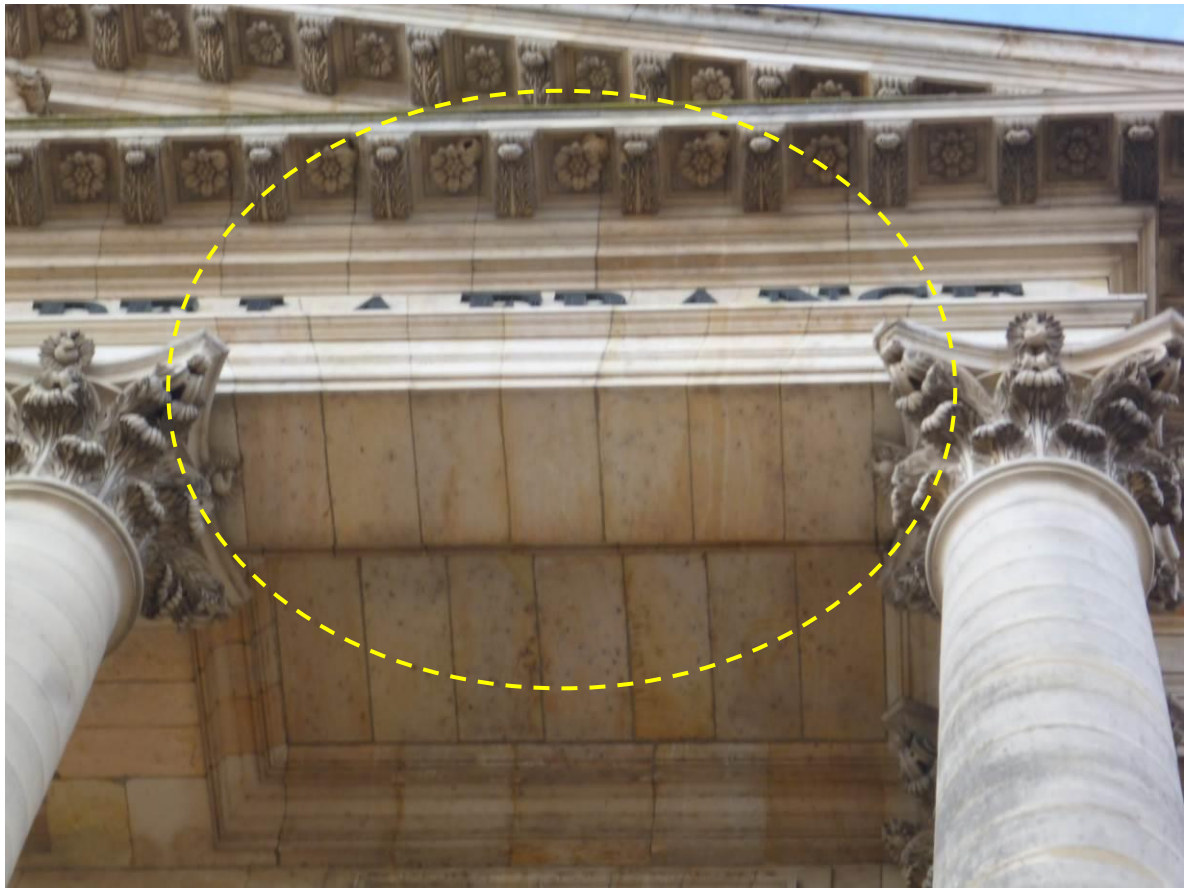
松本城



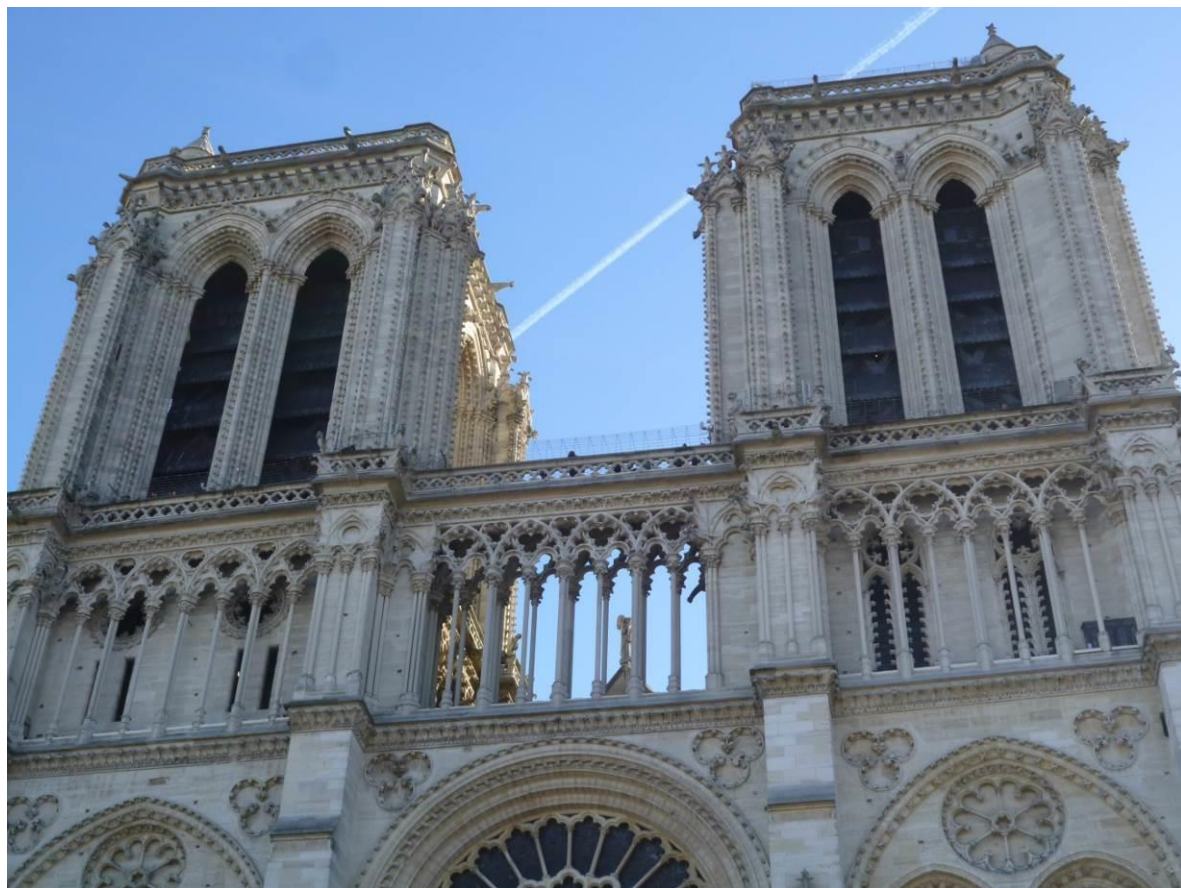
○モンサンミシェル（仏）・・・どの程度失敗したのか・・・



○ベルサイユ宮殿



○ノートルダム寺院



○パリ市内

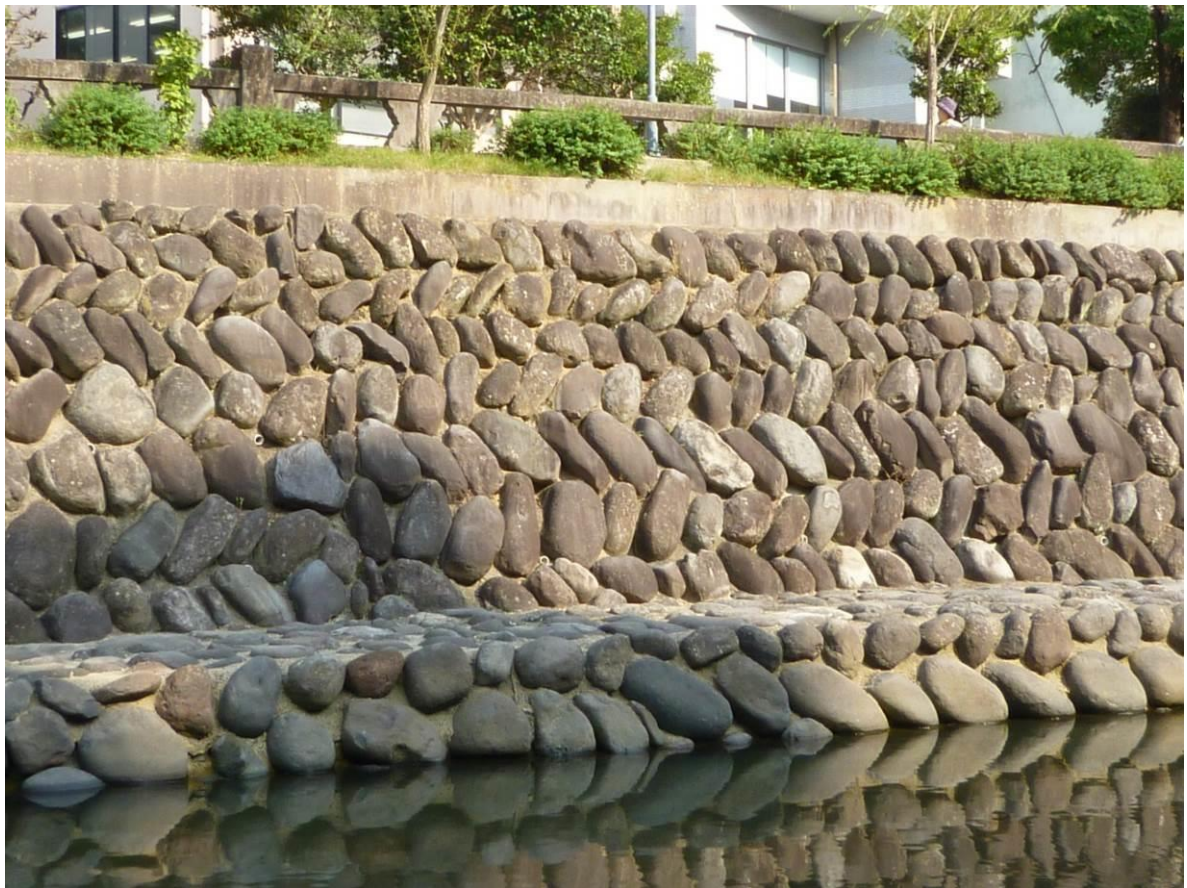


○長崎（オランダ坂）



○眼鏡橋





○ロンドン郊外



○雑石積み

